



S mips  
特許戦略工学分科会

2006年度の活動と2007年度の展望

2007/03/17

# 2006年度の活動テーマ

- IT時代の特許戦略上の問題討議
  - メディア(媒体)、ツール、手法
  - Web、Web2.0、集合知、啓蒙、教育
  - 特許調査、特許情報可視化、特許保護
- PCML(特許請求項記述言語)と特許オントロジー
  - オントロジー(整理された概念)の学習会
  - 今までのXML資産(情報構造)の再利用
  - スコープ検討とユースケースの討議  
(特許、特許明細書、特許請求項)
  - 発明特定事項

# 2006年度月例会テーマ一覧(1)

4月	紙媒体と電子媒体の長所、短所など 特許オントロジー、特許明細書オントロジー、請求項オントロジー
5月	特許調査に関する啓蒙、教育を巡る問題 特許オントロジー(概念の上位/下位関係、全体/部分関係)
6月	PCML DTD Ver0.3 の語彙分析(既存資産の再利用)
7月	PCMLと特許オントロジー ～ 発明特定事項について ~

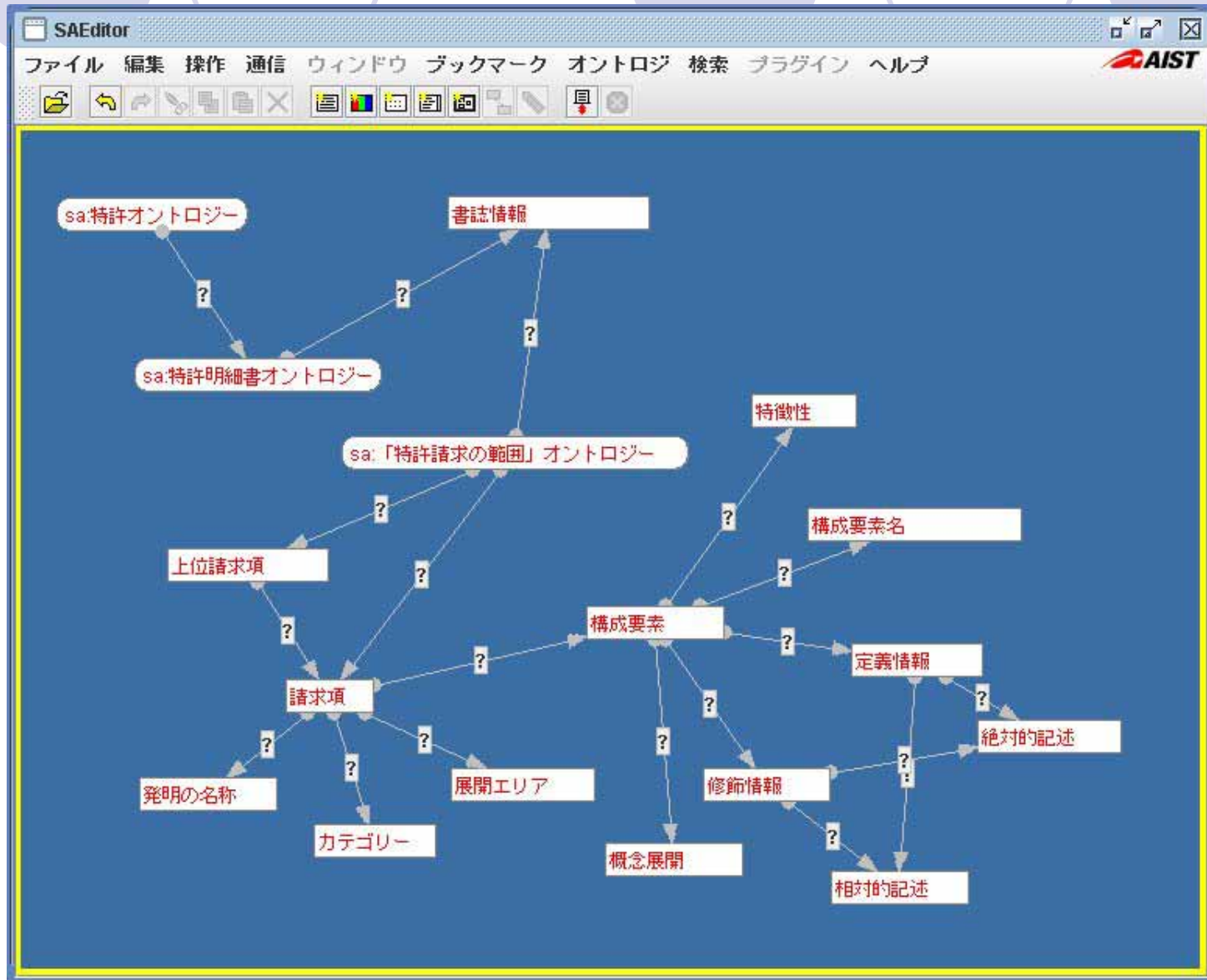
# 2006年度月例会テーマ一覧(2)

10月	「知財戦略、特許戦略にWebは使えるのか？」 ～ ユースケース策定のためのディスカッション ～
11月	知財戦略、特許戦略と集合知 ～ Web 2.0 時代の知財戦略、特許戦略 ～
12月	PCML-Outlineの提案と試作のデモ PCMLエディタとトップダウンシステム
07/1月	特許情報処理ツール、手法の効果的な使い方について
07/2月	【産学連携分科会と合同開催】 特許保護と明細書の関係
07/3月	今年度の活動ならびに来年度の展望

# 2006年度月例会発表者一覧

久野 敦司	本分科会オーガナイザ代表
片岡 敏光	株式会社パットブレン
赤間 淳一	株式会社アドス
小西 一也	株式会社NTTデータ
茂手木 智一	本分科会プロモータ
立石 琢也	アーウェル国際特許事務所

# セマンティックオーサリングツール(産業総合研究所) による特許オントロジー検討



# PCMLアウトライン構造の試作

PCMLツリービュー - Microsoft Internet Explorer

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 検索 お気に入り メディア リンク

## 発明の特許請求項

IPC [A] 生活必需品

- [1] 耕耘作業機のダッシング防止構造
- [2] 農作業機
- [3] 走行作業機のコントロールバルブ装置
- [4] 走行作業機のコントロールバルブ装置
- [5] 作業車両における制御装置の設定器
- [6] **トラクタのドラフトコントロール装置**
  - ヤンマー農機株式会社
    - [【請求項1】ドラフトコントロール装置](#)
    - [【請求項2】ドラフトコントロール装置](#)
    - [【請求項3】ドラフトコントロール装置](#)
- [7] 田植機の自動操縦方法及び田植機
- [8] 点播機
  - 井関農機株式会社
    - [【請求項1】点播機](#)
    - [【請求項2】点播機](#)
- [9] 1条植え移植機の補助車輪装置
- [10] 田植機
  - 株式会社クボタ
    - [【請求項1】田植機](#)
    - [【請求項2】田植機](#)
    - [【請求項3】田植機](#)
- [11] 水田作業機
- [12] 操作レバーの配置機構
- [13] 兼用田植機の操作レバー配設構造

## [6] トラクタのドラフトコントロール装置

### ヤンマー農機株式会社

**【請求項1】**トラクタの後部にトップリンクを連結するトップリンクヒンジを取り付け、該トップリンクヒンジと機体との間に牽引緩衝機構を介装する構成において、前記牽引緩衝機構を構成するセットボルトの一端をトップリンクヒンジに枢結し、他端を機体側に固定した支持部材に係止し、該支持部材とセットボルト枢支ホルダの間のセットボルト上に、バランスバネと位置調整機構を配置したことを特徴とするトラクタの**ドラフトコントロール装置**。

**【請求項2】**トラクタの後部にトップリンクを連結するトップリンクヒンジを取り付け、該トップリンクヒンジと機体との間に牽引緩衝機構を介装する構成において、前記牽引緩衝機構を構成するセットボルトの一端をトップリンクヒンジに枢結し、他側を機体に固定した前後の支持部材に挿通して、該前後の支持部材の間のセットボルト上に大径と小径のバランスバネを配置し、両バランスバネの後側を受ける後サポートと、小径のバランスバネを受ける前サポートを摺動自在にセットボルト上に外嵌し、該セットボルトの前端に位置調整調整部材を配置したことを特徴とするトラクタの**ドラフトコントロール装置**。

**【請求項3】**トラクタの後部にトップリンクを連結するトップリンクヒンジを取り付け、該トップリンクヒンジと機体との間に牽引緩衝機構を介装する構成において、前記牽引緩衝機構を構成するセットボルトの一端をトップリンクヒンジに枢結し、他側を機体に固定した前後の支持部材に挿通して、該前後の支持部材の間に第一バランスバネとその前部を受ける前サポートを、後支持部材とセットボルト枢支ホルダの間に第二バランスバネとその後部を受ける後サポートをそれぞれセットボルト上に配置し、該後サポートとセットボルト枢支ホルダの間のセットボルト上に位置調整調整部材を配置したことを特徴とするトラクタの**ドラフトコントロール装置**。

ページが表示されました

イントラネット

# Microsoft WordでのXML処理テスト

The screenshot displays the Microsoft Word interface with the XML Data Structure pane open on the right. The document content on the left shows various XML elements and their values, such as `pcml_outline`, `patclaim`, `invention` (with the value "操作レバーの配置機構"), `applicant`, `claim`, `id` (with the value "請求項 1"), `title` (with the value "ヤンマー農機株式会社"), `uri`, and `link`.

The XML Data Structure pane on the right shows a tree view of the document's elements:

- invention
  - applicant
    - claim
      - id
      - title

Below the tree view, there are two checkboxes:

- 文書内に XML タグを表示する
- 現在の要素の子要素のみを表示する

Underneath these checkboxes is a list of elements that can be applied to the current selection:

- id
- title
- uri
- link

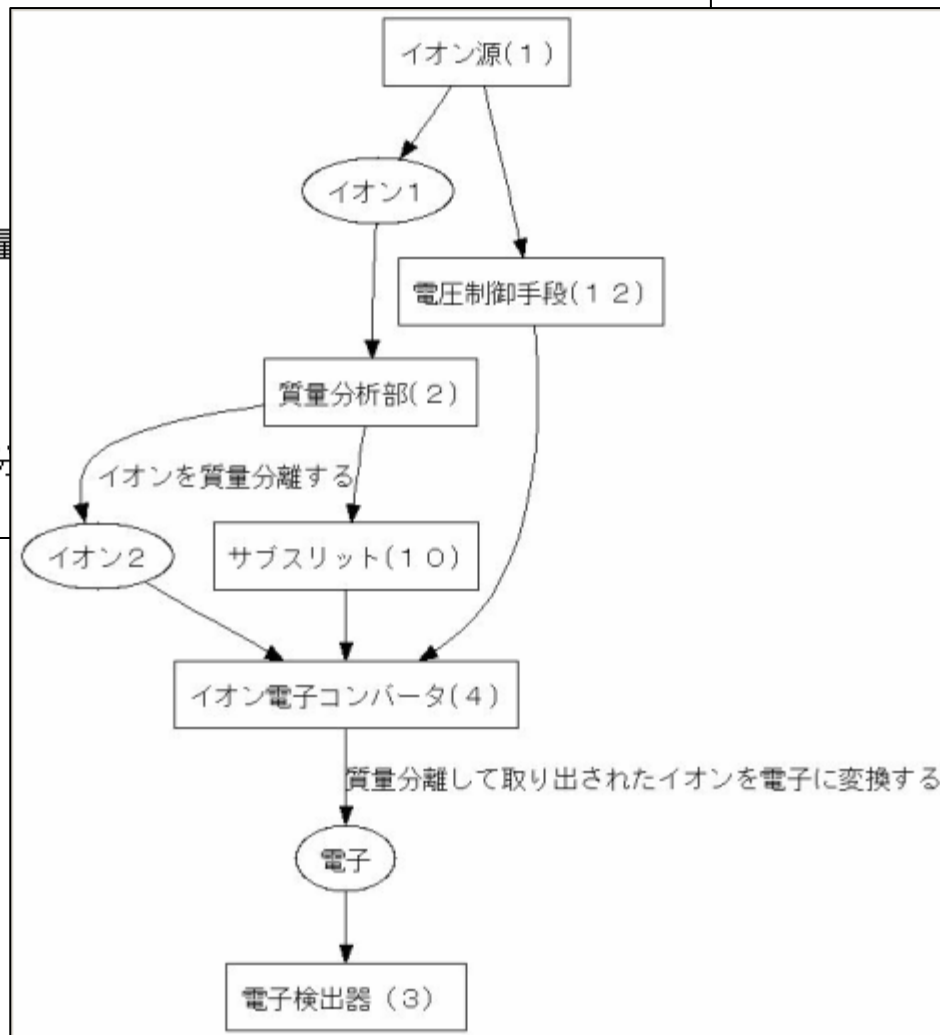
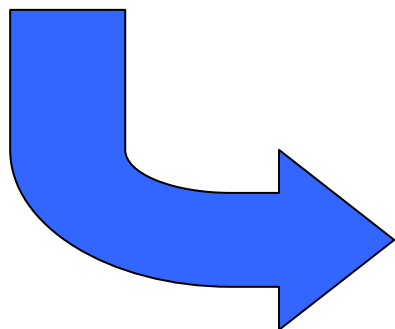
At the bottom of the pane, there is a link for "XML オプション...".

The status bar at the bottom of the window shows: 1 ページ, 1 セクション, 1/1, 位置 66mm, 5 行, 2 桁, 記録, 変更, 拡張, 上書, 日本語.



# 特許請求項の自動作図の試作

```
"イオン1" [shape = "ellipse"];  
"イオン2" [shape = "ellipse"];  
"電子" [shape = "ellipse"];  
  
"イオン源(1)" -> "イオン1";  
"イオン1" -> "質量分析部(2)";  
"質量分析部(2)" -> "サブスリット(10)";  
"質量分析部(2)" -> "イオン2" [label = "イオンを質量"];  
"イオン2" -> "イオン電子コンバータ(4)";  
"サブスリット(10)" -> "イオン電子コンバータ(4)";  
  
"イオン源(1)" -> "電圧制御手段(12)";  
"電圧制御手段(12)" -> "イオン電子コンバータ(4)";  
"イオン電子コンバータ(4)" -> "電子" [label = "質量分"];  
"電子" -> "電子検出器(3)";
```



# パブリシティ (雑誌、書籍)



「知財情報 & 戦略システム」8月号  
Fuji Sankei Business i.

「特許戦略論」  
～ 特許戦略実践の理論とノウハウ～  
久野 敦司

# 2007年度の展望

- 日本知財学会学術研究発表会(2007年6月)での研究成果発表予定
- 特許明細書と特許請求項の領域分析およびユースケースの確定
- 産業総合研究所のセマンティックオーサリングツールを使用しての特許オントロジーの構築(XMLレベルからRDFレベルへの調整)
- エディタツールやWebツールの試作を継続